

## 令和4年度全国学力・学習状況調査の結果(概要)について

4月19日に実施した全国学力・学習状況調査(6年生)の結果の概要をお知らせいたします。内容をご確認いただきますとともに、ご家庭でのお子さまの指導にご活用ください。6年生児童の個人票につきましては、後日配付しますので併せてご確認ください。

- ◇ 国語…全国標準と比べて、やや上回っている。
- ◇ 算数…全国標準と比べて、やや上回っている。
- ◇ 理科…全国標準と比べて、やや上回っている。

- 国語については、「文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整える」や「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う」、「言葉には相手とのつながりをつくる働きがあることを捉える」などで正答率がかなり高くなっていますが、「互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、自分の考えをまとめる」では正答率がやや低くなっています。
  - 算数については、「伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述できる」や「図形を構成する要素に着目して、ひし形の意味や性質、構成の仕方について理解している」、「分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察できる」などで正答率がかなり高くなっていますが、「示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解している」では正答率がやや低くなっています。
  - 理科については、「メスシリンダーという器具を理解している」や「自分で発想した予想と実験の結果を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもつことができる」、「自分で行った観察で収集した情報と追加された情報を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもち、その内容を記述できる」などで正答率がかなり高くなっていますが、「日光は直進することを理解している」では正答率がやや低くなっています。
- \* これからも基礎・基本の内容の定着を図るとともに、自分の考えを書く活動や話し合う活動の充実に努めてまいります。